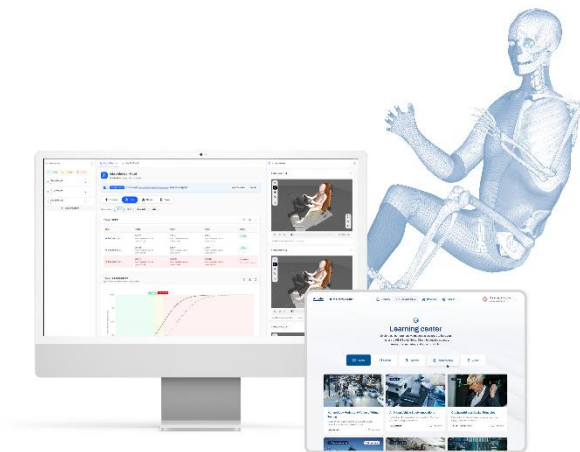


プレスリリース（2026年9月8日）

オートリブ、バーチャル試験を通じて車両安全性の向上を推進

（ストックホルム／スウェーデン、2026年9月8日）自動車安全システムで世界をリードするAutoliv, Inc.（NYSE: ALV、SSE: ALIVsdb）は、「Human Body Model (HBM) セーフティスイート」を活用したバーチャル試験の開発を推進しています。本プラットフォームは、より安全な車両開発を支援することを目的としており、その機能評価のため、トヨタ自動車株式会社（以下「トヨタ自動車」）が初のユーザー企業として導入しました。



バーチャル試験は、実車試験では再現が難しい複雑な衝突条件の解析に活用できます。自動車業界では、車両開発サイクルの短縮、安全要件の進化、そして開発初期段階でより多くの知見を得る必要性の高まりを背景に、物理的な衝突試験を補完する重要な手法として注目されています。

また、各国の法規制や消費者向け安全評価プログラムにおいても、バーチャル手法の活用が進む中、オートリブは自動車業界が進化する要件に対応し、イノベーションを加速するとともに、より多様な乗員の保護向上を実現できるよう支援しています。

HBMセーフティスイート

オートリブのHBMセーフティスイートは、高度なHuman Body Model（人体モデル）による衝突シミュレーションと、解析・可視化・意思決定を支援する専用ソフトウェアツールを統合したバーチャル安全開発プラットフォームです。Human Body Modelは人体解剖学に基づく高精度なデジタルモデルであり、従来の衝突試験用ダミーでは得ることが難しい、乗員の挙動や傷害発生メカニズムに関する知見を提供します。

オートリブの最高技術責任者（CTO）であるファビアン・デュモンは、次のように述べています。

「バーチャル試験は、自動車業界が車両安全性を向上させるうえで、ますます重要な役割を果たしています。オートリブのHBMセーフティスイートは、衝突時に人体がどのように反応する可能性があるかについて詳細な知見を提供し、エンジニアが開発プロセスのより早い段階で安全性能を評価・最適化することを可能にします。高度なHuman Body Modelと専用の解析・可視化ツールを組み合わせることで、より安全な車両開発を支援し、『Saving More Lives(より多くの命を守る)』という当社のビジョンの実現に貢献していきます。」

オートリブのHBMセーフティスイートは、複雑なシミュレーションデータを分かりやすく活用可能な知見へと変換し、バーチャル環境における安全性能の評価や、多様な乗員に対応した安全ソリューションの最適化を支援します。また、本プラットフォームは物理的な衝突試験と併用することで、乗員の挙動や傷害発生メカニズムに関する追加的な知見を提供し、より安全な車両開発を支援します。さらに、開発リードタイムの短縮やコスト効率の向上にも貢献します。

トヨタ自動車は最近、バーチャル安全開発の取り組みの一環として、オートリブのHBMセーフティスイートを活用した機能評価を開始しました。

オートリブは、バーチャル試験が物理的な衝突試験を補完する重要な手法としてますます活用されることを見据え、2026年中に本プラットフォームをより幅広く業界へ提供を開始する予定です。これにより、自動車メーカー各社の安全開発を支援していきます。

HBMセーフティスイートに関する詳細は以下のページをご参照ください。

[HBMセーフティスイート | Autoliv](#)

以 上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Media: media@autoliv.com,

Gabriella Etemad, Tel +46 70 612 64 24, Emelie Ericson, Tel +46 70 957 81 35

Investors & Analysts: ir@autoliv.com,

Anders Trapp, Tel +46 70 957 81 71, Henrik Kaar, Tel +46 70 957 81 14

オートリブ グローバルについて

Autoliv, Inc.は、自動車安全システムをグローバル規模で提供するリーディングカンパニーです。当社は グループ各社を通じて、エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイールなど、世界中の主要自動車メーカー向け保護システムを開発・製造・販売しています。また、商用車向けソリューションや電動化に伴う安全ソリューションなど、モビリティセーフティ分野の製品も提供しています。

オートリブは、モビリティの安全基準に挑戦し、再定義することで、持続可能な形で先進的な安全ソリューションを提供することを目指しています。2025 年には、当社の製品によって約 4 万件の命が守られ、約 60 万件の負傷を軽減しました。

当社は 25 か国で事業を展開しており、13 のテクニカルセンターでイノベーション、研究、開発を推進しています。約 6 万 4,000 人の社員は「より多くの命を守る(Saving More Lives)」というビジョンに情熱を注ぎ、品質をすべての中心に据えて活動しています。2025 年の売上高は 108 億ドルでした。

オートリブ株式会社（オートリブ 日本法人）について

オートリブは1987年に日本でオフィスを立ち上げ、35年以上もの間、主に日本の完成車メーカー向けに自動車を含めたモビリティの安全ソリューション（エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイールなど）の開発、製造、販売を行っています。日本のお客様の営業窓口としてグローバルでも重要な拠点であり、テクニカルセンター、生産工場（筑波事業所・中部事業所・広島事業所）、営業拠点を日本国内に持ち、約2,000人の従業員が働いています。2025年度の売上高は、1,301億3,700万円です。

さらに詳しい情報は、以下を参照してください。

www.autoliv.com オートリブグローバルサイト（英語）

www.autoliv.jp オートリブ株式会社（日本）オフィシャルコーポレートサイト（日本語）

www.instagram.com/autolivjapan オートリブ株式会社（日本）公式Instagram（日本語）

www.youtube.com/@autolivjapan オートリブ株式会社（日本）公式YouTubeチャンネル（日本語）

セーフハーバー（免責）事項

本レポートには、1995年米国私的証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に定義される、過去の事実ではなく将来予想に関する記述が含まれています。これらの将来予想に関する記述には、オートリブ（Autoliv, Inc.）またはその経営陣が、将来起こり得ると信じる、あるいは予想する活動、出来事、または状況に関する記述が含まれます。

すべての将来予想に関する記述は、当社の現在の期待、各種の前提、そして第三者から入手可能なデータに基づいています。当社の期待や前提は誠意をもって表明されており、それらには合理的な根拠があると信じています。しかしながら、将来予想に関する記述には本質的に既知および未知のリスク、不確実性、その他の要因が伴い、実際の将来の結果、業績、または成果が、当該記述で述べられた、もしくは示唆された将来の結果、業績、または成果と大きく異なる可能性があります。そのため、これらの将来予想が実現する、または正しいと証明される保証はありません。

実際の結果が将来予想に関する記述と大きく異なる原因となり得るリスク、不確実性、その他の要因は多数存在し、その中には、一般的な経済状況や世界の自動車市場における変動などが含まれます。

本書またはその他の文書に含まれる将来予想に関する記述について、当社は1995年私的証券訴訟改革法に規定された「セーフハーバー（安全港）」条項の適用を受けるものであり、法律で要求される場合を除き、新たな情報または将来の出来事に照らして当該記述を公に更新または修正する義務を負うものではありません。

※本資料は2026年9月8日にオートリブ本社（スウェーデン）で発表されたプレスリリースの日本語版です。英語版は以下のリンクからご確認ください。

<https://www.autoliv.com/sites/autoliv/files/pr/202609077143-1.pdf?ts=1788868192>